

かわさき区の宝物シート

宝物No.	たまたがわすかいぶりっじ
14-6	多摩川スカイブリッジ

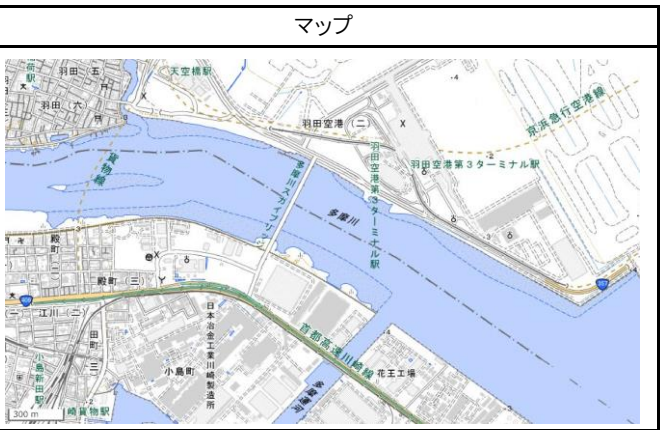
エリア	大師地区	シーズン	通年
	殿町	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る	<input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input checked="" type="checkbox"/> その他

宝物定義	<input checked="" type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input type="checkbox"/> にぎわい
	<input checked="" type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物



所在地	川崎区殿町3丁目
問い合わせ	建設緑政局広域道路整備室
TEL	044-200-0436
FAX	044-200-3979
E-mail	53koiki@city.kawasaki.jp
URL	https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000097966.html (羽田連絡道路整備事業(多摩川スカイブリッジ)について)
交通	京急大師線「大師橋駅」からバス約7分 京急大師線「小島新田駅」から徒歩約20分 首都高速「殿町IC」から車で約2分 JR「川崎駅(東口)」からバス約35分



出典：国土地理院ウェブサイト

基礎情報

- イノベーション創出と新産業創出・発信拠点である川崎区殿町にあるキングスカイフロントと羽田空港に隣接する羽田グローバルウイングズをつなぐ橋として令和4年3月12日に開通した。
- 道路延長約840m(橋梁延長約675m)、標準幅員17.3mと多摩川にかかる橋のなかで最も長く、最も下流に位置する橋梁である。車道のほか、人や自転車も通行できる歩道・自転車道が整備されている。
- 羽田空港に近く航空法による高さ制限があること、さらに河口の水平基調の景観との調和、橋上での開放感が体感できることなどを考慮して、橋梁形式には、鋼3径間連続鋼床版桁橋(複合ラーメン)を採用。環境への影響を最小限に抑えるため、河川内の橋脚を2基とした、国内最大の中央支間240mを有する複合ラーメン橋である。
- 桁高を抑えたシルエットを特長とし、また構造物等の突起物が少なく、鳥類の飛行に配慮している。
- 高欄は、河口の水平基調の景観との調和などを考慮して横棧形式とし、照明は川面に極力光が漏れないよう低位置照明を採用、夜間に河川を照らすことによる生態系への影響を軽減している。
- 歩道部マウントアップ部を活用した鋼製排水溝を採用し、維持管理面に配慮しつつ、景観性の向上を図った。
- 橋梁の色彩には、多摩川と空に融和しながらも、存在感を感じさせる色が選定された。空・橋・河川の三層が印象的な光景を演出している。

由来・エピソード

- 工事中に発生した令和元年東日本台風の影響などにより、工事期間を1年延期したが、計画・設計・工事まで僅か8年とかがつないスピードで完成した。
- 名称は一般公募され、8,498件の応募があった。「多摩川兩岸の地域がつながり、空へ、世界へと発展していくようなイメージを抱きやすく、羽田空港に近接し、空が広く開放的に感じられる橋にふさわしい名称であり、また公募において多くの意見を頂いた「スカイブリッジ」が含まれ、地域から親しまれてきた象徴的な存在である「多摩川」の名前が入ることで、未永く多くの人々に愛着をもっていただけることが期待できる。」との理由により、「多摩川スカイブリッジ」が選ばれた。
- 建設地には、東京湾に残された貴重な多摩川河口干潟が広がるため、多くの生物が生息する、この生態系保持空間を守るため、送出し架設工法・張出し架設工法を選定し施工した。
- 生態系への配慮から「環境モニタリング計画」を策定し、モニタリング調査を継続実施することで、工事による影響を把握した。また、干潟の一部を浚渫するため、「干潟の保全・回復計画」を策定し工事後、復元を図った。
- 多摩川スカイブリッジは、多摩川河口の豊かな自然環境に最大限配慮し、維持管理性と景観性を両立させ、他には類を見ない橋梁美を実現したことなどを理由に令和3年度土木学会田中賞(作品部門)を受賞した。

補足・その他

- 2022年の川崎市ブランドメッセージのPRポスターに採用された。昇る朝日とともに映る橋は、広い空、広い海、そして、世界中の人と人を結ぶ未来につながる橋であり、川崎の可能性が未来に続いていくことを表現している。

関連シート

(14-1)多摩川(河口干潟・桜並木)